

江戸川区立本一色小学校 特別活動全体計画

校長名 末松 陸士

学校の教育目標	人間尊重の精神に基づき、豊かな心をもち、伝統と文化を尊重し、それらを育んで我が国と郷土を愛するとともに、公共の秩序を尊重し、資質を磨き、広く社会に貢献しようとする心身とも健康な児童の育成を目指し、次の教育目標を設定する。 ◎考える子(よく考え、進んで実行する子) ○やさしい子(豊かな心をもち、仲良く助け合う子) ◎たくましい子(健康でなべ強い子)
特別活動の目標	集団や社会の形成者としての見方・考え方を働かせ、様々な集団活動に自主的、実践的に取り組み、互いのよさや可能性を發揮しながら集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、次の通り資質・能力を育成することを目指す。 (1) 多様な他者と協働する様々な集団活動の意義や活動を行う上で必要となることについて理解し、行動の仕方を身に付けるようにする。 (2) 集団や自己の生活、人間関係の課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成を図ったり、意思決定したりすることができるようにする。 (3) 自主的、実践的な集団活動を通して身に付けたことを生かして、集団や社会における生活及び人間関係をよりよく形成するとともに、自己の生き方についての考えを深め、自己実現を図ろうとする態度を養う。
目指す児童像	○ 活動の目標を達成するための方法を全員で考え、話し合い、協力して実践できる子 ○ 自分の役割や責任を果たすとともに、活動の目標について振り返り、生かすことができる子 ○ 集団の中で、互いのよさを認め合い、生かし合うことができる子
特別活動の重点目標	集団の一人としての自覚を深め、よりよい人間関係を築こうとする態度を育てる。

	学級活動	児童会活動	クラブ活動	学校行事
目標	学級や学校生活をよりよくするための課題を見だし、解決するために話し合い、合意形成し、役割を分担して協力して実践したり、学級でお話し合いを生かして自己の課題解決及び将来の生き方を描くために意思決定して実践したりすることに、自主的、実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。	異年齢の児童同士で協力し、学校生活の充実と向上を図るための諸問題の解決に向けて、計画を立て役割を分担し、協力して運営することに自主的実践的に取り組むことを通じて、第1の目標に掲げる資質・能力を育成することを目指す。
指導の方針	○ 一人一人が互いに尊重しよさを認め合えるような人間関係を育むために、低学年では仲良く助け合うとする人間関係、中学年では協力し合うとする人間関係、高学年では信頼し支え合おうとする人間関係の育成を重視する。また、あなずる班活動では学年を越え、高学年は思いやりをもって低学年に接し、低学年は尊敬の気持ちをもって高学年に接することができるようにする。 ○ 自己のよさや可能性を生かして楽しく参画できるような自主的、自主的な態度を育成する。	異年齢集団活動を通して、上学年が下学年を思いやり、下学年が上学年にこの力をもち、仲良く、協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を形成したり、集団の一人として自分の役割を果たし、協力してよりよい学校生活づくりに積極的に取り組んだりすることについて、児童自身が意識して努力したり、自らが主体的に取り組んだりするなどの自主的、実践的な態度を育成する。	学年や学級が異なる同好の児童が互いに協力し、信頼し支え合おうとする人間関係を築くことができるようにするとともに、児童の興味・関心にかかわるよさや可能性について、多様な他者との人間的な触れ合いの中で認め合うことができるようにする。	全校又は学年という大きな集団の特質をよく理解し、児童が各種の学校行事に積極的に参加できるようにしたり、役割を担ってその責任を果たすことができるようにしたり、共に喜びや苦労を分かち合いながら目標を成し遂げることができるようにしたりするなど、望ましい体験的な活動が展開できるようにする。
主な指導内容	(1) 学級や学校における生活づくりへの参画 ア 学級や学校における生活上の諸問題の解決 イ 学級内での組織づくりや役割の自覚 ウ 学校における多様な集団の生活の向上 エ 2) 日中の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全 オ 基本的な生活習慣の形成 カ よりよい人間関係の形成 ク 心身ともに健康で安全な生活態度の形成 コ 食育の観点から食生活と食育の形成 サ 一人一人のキャリア形成と自己実現 シ 現在や将来に希望や目標をもって生きる態度の形成 ス 社会参画意識の醸成や働くことの意義の理解 セ 主体的な学習態度の形成と学校図書館等の活用	学校全体の生活を共に楽しく豊かにするために学校の全児童をもって組織する異年齢集団の児童会による自主的・自発的活動 (1) 児童会の組織作りと児童会活動の計画や運営 (2) 異年齢集団による交流 (3) 学校行事への協力	学年や学級の所属を離れ、主として第4学年以上の同好の児童をもって組織するクラブにおいて、異年齢集団活動の交流を深め、共通の興味・関心を通じた活動を行う。 (1) クラブの組織づくりとクラブ活動の計画や運営 (2) クラブを楽しむ活動 (3) クラブの成果の発表	○ 儀式的行事：学校生活に有意義な変化や折り返しを付け、厳粛で清新な気分を味わい、新しい生活の展開への動機付けとなるようにすること。 ○ 文化的行事：平素の学習の成果を発表しその向上の意欲を一層高めたり文化や芸術に親しんだりすること。 ○ 健康安全・体育的行事：心身の健全な発達や健康の保持増進、事件や事故、災害等から身を守る安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度の育成、責任感や連帯感の涵養、体力の向上などに資するようにすること。 ○ 遠足・集団宿泊的行事：自然の中での集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあって、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、よりよい人間関係を築くことなどの集団生活の在り方や公衆道徳などについての体験を積むことができるようにすること。 ○ 勤労生産・奉仕的行事：勤労の尊さや生産の喜びを体得するとともに、ボランティア活動などの社会奉仕の精神を養う体験が得られるようにすること。
各教科・読書科	○ 各教科で身に付けた資質・能力などを学級活動において、よりよく活用できるようにする。国語科を中心として各教科の指導で身に付けた言葉の的確に理解・表現する能力、互いの立場や考えを尊重し伝え合う能力などを活用したり、これらの能力を向上させたりする場である。 ○ (2) 学校図書館の利用や(2) 食育の観点から食生活を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成は、体育や家庭科など、「食育の観点から食生活を踏まえた学校給食と望ましい食習慣の形成」は、国語科や体育科、家庭科の学習と、「(3) 主体的な学習態度の形成」については、国語科の学習と関連を図って指導する。	各教科で身に付けた能力などを、児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりのためによりよく活用できるようにしたり、児童会活動で身に付けた自主的、実践的な態度などを各教科等の自主的な学習に生かしたりできるようにする。	各教科の学習を中心として行われる様々な教育活動の中で、一人一人の児童の自主的な活動が促され、それぞれの児童が自己の特性を生かしながら学級や学校の生活を送ることができるようになるとともに、クラブ活動を通して身に付けた様々な技能や態度が、他の教育活動においても生かされるようにする。	○ 儀式的行事：学校や地域の事象について学習したことを基に、学校や地域の一人一人としての自覚を高めるようにする。 ○ 文化的行事：国語や音楽、図画工作などの学習の成果を発表し交流しあうことで、それらの学習の向上及び意欲を一層高める。 ○ 健康安全・体育的行事：体育の学習成果を発表し、安全な行動や規律ある集団行動の体得、運動に親しむ態度を育成する。 ○ 遠足・集団宿泊的行事：社会や理科、生活などの学習を生かして、自然や文化などに親しみ、集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積む。 ○ 勤労生産・奉仕的行事：生活、社会などの学習を生かして、勤労の尊さや生産の喜びを体得させ、社会奉仕の精神を養う体験を行う。
他の教育活動との関連	低学年では、自分がやるべき仕事をしっかりと行うこと、友達と仲良く助け合うこと、中学年では、友達と互いに理解し助け合うこと、みんなでも協力して楽しく学級をつくること、高学年では、互いに信頼し、学び合い、協力し助け合うこと、身近な集団に参画し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。 外国語活動で身に付けたコミュニケーションへの積極的な態度を諸活動に生かせるようにする。 総合的な学習の時間で身に付けた自分とのかかわりに基づく課題発見力、主体的な学習態度などを、学級の諸問題を解決する実践活動に生かせるようにする。	下学年は、わがままをしないで自分でできることは自分でやること、よく考えて行動し、節度のある生活をする。上学年では、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすること、身近な集団に参画し、自分の役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たすことを重視する。 外国が活動で学んだコミュニケーションの場面や働きに配慮した体験的なコミュニケーション活動の成果を生かすようにする。 総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスや友達同士の学び合いなどを、学校の諸問題の解決や、児童集会の企画・運営などに生かせるようにする。	4年生は、自分でやろうと決めたことは粘り強くやり遂げること、尊敬と感謝の気持ちをもって接することを、5、6年生は、進んで新しいものを求め、工夫して生活をよりよくすること、だれに対しても思いやりの心をもち、相手の立場に立って親切にすることを重視する。 「相手との関係を円滑にする」、「事実を伝える」、「考えや意図を伝える」、「相手の行動を促す」などの学習体験を生かす。 総合的な学習の時間で学んだ問題解決のプロセスを活用し創意工夫を、クラブ活動における多様な展開に生かせるようにする。	儀式的行事では、礼儀正しく真心をもって行動すること、みんなでも協力し合いよりよい校風をつくること、郷土や国を愛する心をつくること、文化的行事では、美しいものや気高いものに感動する心をもつこと、健康安全・体育的行事では、健康や安全に気を付け、生命あるものを大切にすることを、遠足・集団宿泊的行事では、自然環境を大切にすることを、勤労生産・奉仕的行事では、社会に奉仕する喜びを知って公共のために役に立つことを重視する。 外国語活動で身に付けた国語や我が国の文化に対する理解を深め、世界の人々と相互の立場を尊重、協調しながら交流しようとする態度を諸行事に生かす。 地域や幼稚園、特別支援学校との関わりを基本とした交流教育活動を通して、よりよく人と関わることのできる態度や能力を育てたり、自分たちが住む江戸川区を大切に思う心を育てたりする。(1年生は幼稚園との交流、2年生、5年生、6年生では特別支援学校との交流活動を年間を通して計画的に行う。また、4年生ははめ組作りや、江戸風物など地域に根ざした伝統産業に関わる人々との交流も随時行う。)
家庭や地域との連携	楽しく豊かな学級や学校の生活づくりや健全な生活態度を育成する活動を効果的に展開するために、個々の家庭の状況に配慮したり、家庭での指導との連携を図ったり、地域の人材を活用したりする。また、基本的な生活習慣の形成、心身ともに健康で安全な生活態度の形成、食育の観点から食生活を踏まえた望ましい食習慣の形成などの事項は、家庭での指導と連携を図り効果的な指導をする。	児童会活動における楽しく豊かな学校生活づくりの活動を効果的に展開するために、家庭や地域の協力を得たり、社会教育施設等を活用したりする。また、学校行事に協力する児童会活動として、運動会を行う際、敬老席を用意して地域の高齢者を招待するなどして、地域の福祉に携わる活動や仕事を生かしている人々の協力を得たりする活動などを行う。	児童の興味・関心を基本としながら、地域のお祭りや踊りなどの伝統芸能や文化と関連付けて、外部講師や地域の教育者を活用したりするなど、地域の実態や特性を考慮した活動を促す。また、地域のスポーツ施設に Outreach において、地域のお年寄りによるチームと対戦することなどの活動も考慮する。	文化的行事や健康安全・体育的行事などにおいて、地域社会の人々が参観しやすいように、期日などを考慮したり、地域の伝統文化に触れる活動や地域の行事と学校行事との関連を図って実施するなどして、学校の教育について積極的に地域の人々に理解を得る。また、勤労生産・奉仕的行事などでは、保護者や地域の関係団体の協力を得るなど地域の人々との連携を図ったり、家庭への積極的な参加を呼びかけたりする。
備考				